

国際メディカル専門学校

診療情報管理士学科

カリキュラム概要

(2019 年度)

診療情報管理士学科 カリキュラム

区分	授業科目	必修 単位	年間授業時間数			合計時間数	実務経験のある教員等による授業科目	
			1年次	2年次	3年次		2019年度	単位数
共通科目	医学概論	1	20			20	○	1
	解剖学・生理学	5	75			75	○	5
	臨床医学総論	1	20			20	○	1
	臨床医学各論(精神・脳神経・感覚器系等)	1		20		20	○	1
	臨床医学各論(消化器・泌尿器系)	1	20			20	○	1
	臨床医学各論(感染症および寄生虫症)	1		20		20	○	1
	臨床医学各論(循環器・呼吸器系)	2			40	40	○	2
	臨床医学各論(新生物)	2			40	40	○	2
	臨床医学各論(血液・代謝・内分泌等)	2			35	35	○	2
	臨床医学各論(皮膚・筋骨格系等)	1		20		20	○	1
	産科学	1		20		20	○	1
	薬理学	1		20		20	○	1
	医療情報学Ⅰ	1	20			20		
	医療情報学Ⅱ	3		45		45		
	医療情報学Ⅲ	1			20	20		
	病院管理学	1	20			20	○	1
	医療関連法規Ⅰ	1	20			20	○	1
	医療関連法規Ⅱ	1		20		20		
	医療統計学Ⅰ	1		20		20	○	1
	医療統計学Ⅱ	1			20	20	○	1
	医学用語	3		45		45	○	3
	診療情報管理学Ⅰ	4			60	60	○	4
	診療情報管理学Ⅱ	8			120	120	○	8
	電子カルテ	1		20		20		
	医療秘書実務	3		45		45		
	疾病分類法Ⅰ	4		120		120		
	疾病分類法Ⅱ	2			80	80		
	疾病分類法演習Ⅰ	1		30		30	○	1
	疾病分類法演習Ⅱ	2			60	60	○	2
	ICDコーディング実習	1			40	40		
	診療報酬請求	10	160			160	○	10
	診療報酬請求演習Ⅰ	7	210			210	○	7
	診療報酬請求演習Ⅱ	1		50		50		
	診療報酬請求演習Ⅲ	4			140	140	○	4
	DPC請求	1	15			15	○	1
	医事コンピュータ実習Ⅰ	1	30			30		
	医事コンピュータ実習Ⅱ	1		30		30		
	医師事務作業補助概論	2			30	30	○	2
	医療文書作成実習	1			40	40		
	病院実習	5		90	60	150	○	5
	コンピュータ実習Ⅰ	3	90			90	○	3
	コンピュータ実習Ⅱ	3		90		90	○	3
	情報処理工学	3		50		50		
英語	3	45			45			
心理学	2	30			30			
数学	2		30		30			
日本語表現Ⅰ	1	15			15			
日本語表現Ⅱ	1		15		15			
コミュニケーション学	1	15			15			
就職実務Ⅰ	1		15		15			
就職実務Ⅱ	1			15	15			
医療ビューティー特論	1		15		15	○	1	
必修科目単位数・時間数		113	805	830	800	2435	30	77

2019 年度
学修要項(シラバス Syllabus)

ICM 国際メディカル専門学校
診療情報管理士学科 第1学年
2019 年度入学生

授業科目 医学概論

【科目担当者】 小山 諭		【実務経験の有無および経歴】 有（医師として医療現場に従事）	
【単位数】 1	【時間数】 20時間	【対象学年】 1年	【開講時期】 後期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 医学と医療に関する歴史の変遷を学び、医療の現状を理解する。また、医の倫理、社会保障制度、医療制度など関連法規の知識を学び、医療の社会的役割を総合的に理解する。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1	医学と医療	講義	小山 諭
2	医の倫理	講義	小山 諭
3	脳死と臓器移植	講義	小山 諭
4	診療情報提供	講義	小山 諭
5～6	社会保障制度	講義	小山 諭
7	医療制度	講義	小山 諭
8	医療関連法規	講義	小山 諭
9	地域保健と公衆衛生（地域保健の組織と活動）	講義	小山 諭
10	包括医療（保健・医療・福祉）	講義	小山 諭
【使用教科書】 診療情報管理 I 日本病院会			
【評価方法】 授業態度・出席率 10%、期末試験 90% 成績評価基準は学則に従い、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。			

授業科目 解剖学・生理学

【科目担当者】 村山 ひとみ	【実務経験の有無および経歴】 有（看護師として医療・介護・保健事業の現場に従事）		
【単位数】 5	【時間数】 75時間	【対象学年】 1年	【開講時期】 前・後期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】			
①科目概要：医療事務系職種に必要な、カルテ読み込み、レセプト作成（主病）の理解、患者理解に関連した必要最低限の基礎医学を学ぶ。			
②授業方法・内容：正体的な資格試験合格範囲を意識して、重要個所をノートまとめ、教科書マーカー引き、各章終了ごとにチェックテストを実施。			
③到達目標：医療事務管理士、診療報酬、医療秘書検定、医師事務補助作業、診療情報管理の資格試験における基礎医学系問題を解くことができる。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1～2	人体の各部と名称	講義	村山 ひとみ
3～4	人体の成り立ち（細胞・組織・器官・器官系）	講義	村山 ひとみ
5～6	人体の構成（染色体）	講義	村山 ひとみ
7～8	皮膚と膜（皮膚の三相構造、皮膚・粘膜・漿膜・滑膜）	講義	村山 ひとみ
9～12	運動器系（骨格系と筋系）	講義	村山 ひとみ
13～16	脳・神経系	講義	村山 ひとみ
17～20	循環器系（心臓・血管・リンパ系）	講義	村山 ひとみ
21～24	血液・免疫（血液の特徴と働き、白血球の機能）	講義	村山 ひとみ
25～26	腎・泌尿器系（血液ろ過・原尿・尿の生成）	講義	村山 ひとみ
27～30	呼吸器系	講義	村山 ひとみ
31～36	消化器系	講義	村山 ひとみ
37～38	内分泌系	講義	村山 ひとみ
【使用教科書】			
診療情報管理 I 日本病院会 解剖生理学 メディカ出版 看護医学用語の読み方と意味 サイオ出版			
【評価方法】			
期末試験 60%、チェックテスト 10%、レポート 10%、課題提出 10%、授業態度（出席状況含む） 10% 成績評価基準は学則に従い、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。			

授業科目 臨床医学総論

【科目担当者】 阿部 時也		【実務経験の有無および経歴】 有（ 医師として医療現場に従事 ）	
【単位数】 1	【時間数】 20時間	【対象学年】 1年	【開講時期】 後期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 病気になる原因、先天奇形、変形および染色体異常、損傷、中毒、その他の外因の影響など臨床医学について総論的に理解する。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1～3	病気になる原因とは 疾病の原因 検査所見 治療方針	講義	阿部 時也
4～6	先天奇形、変形および染色体異常について 神経系の先天奇形 呼吸器系の先天奇形 消化器系の先天奇形 染色体異常、他に分類されないもの	講義	阿部 時也
7～10	損傷、中毒、その他の外因の影響 軟部組織の損傷 各部位の損傷 薬物、薬剤および生物学的製剤による中毒 薬用を主としない物質の毒作用	講義	阿部 時也
【使用教科書】 診療情報管理 I 日本病院会			
【評価方法】 授業態度・出席率 10%、期末試験 90% 成績評価基準は学則に従い、A(80 点以上)・B(70 点以上)・C(60 点以上)・D(60 点未満)とする。			

授業科目 臨床医学各論（消化器・泌尿器系）

【科目担当者】 小山 諭		【実務経験の有無および経歴】 有（ 医師として医療現場に従事 ）	
【単位数】 1	【時間数】 20時間	【対象学年】 1年	【開講時期】 後期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 消化器・泌尿器系の疾病を中心に、特徴、症状、診断法、治療法等について理解する。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1～5	消化器系の疾患 口腔、唾液腺および顎の疾患 食道、胃および十二指腸の疾患 虫垂の疾患 ヘルニア 腸のその他の疾患 腹膜の疾患 肝疾患 胆のう、胆管および膵の障害	講義	小山 諭
6～10	腎尿路生殖器系の疾患 糸球体疾患 腎尿細管間質性疾患 腎不全 尿路結石 尿路系のその他の疾患 男性生殖器の疾患 女性生殖器の疾患	講義	小山 諭
【使用教科書】 診療情報管理 I 日本病院会 病気の地図帳 講談社			
【評価方法】 授業態度・出席率 10%、期末試験 90% 成績評価基準は学則に従い、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。			

授業科目 医療情報学 I

【科目担当者】 藤縄 美弥子		【実務経験の有無および経歴】	
【単位数】 1	【時間数】 20時間	【対象学年】 1年	【開講時期】 後期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 医療情報の基礎を学び、医事コンピュータ、電子カルテへの理解につなげる。医事コンピュータ3級のコンピュータ関連知識の合格を目指す。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1	コンピュータの情報表現（進数、ビット、バイト）	講義	藤縄美弥子
2	コンピュータの5大装置と機能、周辺装置の種類	講義	藤縄美弥子
3	周辺装置の種類と特徴	講義	藤縄美弥子
4	インターフェイスの種類と特徴	講義	藤縄美弥子
5	ソフトウェアの種類と特徴	講義	藤縄美弥子
6	オペレーティングシステムの種類と特徴	講義	藤縄美弥子
7	アプリケーションソフトの基本操作理解	講義	藤縄美弥子
8	保健医療情報システムの概要	講義	藤縄美弥子
9~10	医事コンピュータ3級過去問題演習と解説	演習	藤縄美弥子
【使用教科書】 医事コンピュータ関連知識 建帛社			
【評価方法】 期末試験 50%、確認テスト 25%、学習意欲（出席状況含む）25% 成績評価基準は学則に従い、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。			

授業科目 病院管理学

【科目担当者】 宮本 真由美	【実務経験の有無および経歴】 有（ 医療事務として医療現場に従事経験あり ）		
【単位数】 1	【時間数】 20時間	【対象学年】 1年	【開講時期】 前期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 医療サービスの提供に関する組織、運営を理解する。また、病院で働くさまざまな職種について学び、医療事務員・診療情報管理士との関わりを理解する。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1	医療機関の種類	講義	宮本真由美
2～3	病院で働く人の職種理解	講義	宮本真由美
4～6	病院内の部門と仕事 診療部門 看護部門 副診療技術部門 事務部門 ハウスキーピング部門	講義	宮本真由美
7～8	組織とは ライン、スタッフ、ライン・スタッフ、ファンクショナル組織	講義	宮本真由美
9	人間関係論	講義	宮本真由美
10	病院会計	講義	宮本真由美
【使用教科書】 病院のマネジメント 藤井昌弘・岸田敏彦・丹野清美 共著 建帛社			
【評価方法】 授業態度・出席率 10%、チェックテスト 10%、期末試験 80% 成績評価基準は学則に従い、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。			

授業科目 医療関連法規 I

【科目担当者】 藤縄 美弥子	【実務経験の有無および経歴】 有（医事課職員として医療現場に従事経験有り）		
【単位数】 1	【時間数】 20時間	【対象学年】 1年	【開講時期】 後期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 医療機関の事務職員として働くうえで必要な医療関連法規のうち、現場で必要とされる医療法、健康保健法を中心に法律と仕事との関連を理解するとともに各種資格試験に備えることを目標とする。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1~3	医療法	講義	藤縄美弥子
4~5	従事者各法（医師法、薬剤師法など）	講義	藤縄美弥子
6~8	健康保険法	講義	藤縄美弥子
9	生活保護法	講義	藤縄美弥子
10	介護保険法	講義	藤縄美弥子
【使用教科書】 医療関連法規の完全知識 2019年版 医学通信社			
【評価方法】 期末試験 50%、確認テスト 25%、学習意欲（出席状況含む） 25% 成績評価基準は学則に従い、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。			

授業科目 診療報酬請求（医科）

【科目担当者】 藤縄 美弥子	【実務経験の有無および経歴】 有（医事課職員として医療現場に従事経験有り）		
【単位数】 10	【時間数】 160時間	【対象学年】 1年	【開講時期】 前・後期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 診療報酬請求（医科）の基本を身につけるとともに、9月の医療事務管理士認定試験、12月の診療報酬請求事務能力認定試験（医科）の資格取得を目指す。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1~4	医療保険制度の概要	講義	藤縄美弥子
5	レセプトの上書き	講義・演習	藤縄美弥子
6~8	初診料の算定とレセプトの書き方	講義・演習	藤縄美弥子
9~11	再診料の算定とレセプトの書き方	講義・演習	藤縄美弥子
12~15	医学管理料の算定とレセプトの書き方	講義・演習	藤縄美弥子
16~20	投薬の算定とレセプトの書き方	講義・演習	藤縄美弥子
21~24	注射料の算定とレセプトの書き方	講義・演習	藤縄美弥子
25~27	在宅医療の算定とレセプトの書き方	講義・演習	藤縄美弥子
28~31	処置料の算定とレセプトの書き方	講義・演習	藤縄美弥子
32~33	リハビリテーションの算定とレセプトの書き方	講義・演習	藤縄美弥子
34~40	検査料の算定とレセプトの書き方	講義・演習	藤縄美弥子
41	病理診断の算定とレセプトの書き方	講義・演習	藤縄美弥子
42~46	画像診断の算定とレセプトの書き方	講義・演習	藤縄美弥子
47~49	手術料の算定とレセプトの書き方	講義・演習	藤縄美弥子
50~52	麻酔料の算定とレセプトの書き方	講義・演習	藤縄美弥子
53	精神科専門療法の算定とレセプトの書き方	講義・演習	藤縄美弥子
54	放射線治療の算定とレセプトの書き方	講義・演習	藤縄美弥子
55~65	入院料等・外来レセプトとの違い	講義・演習	藤縄美弥子
66~68	レセプトの点検	講義・演習	藤縄美弥子
69~70	公費負担医療	講義	藤縄美弥子
71~80	総合演習	演習	藤縄美弥子
【使用教科書】 医療事務講座（医科）テキスト1~3 サポートブック ソラスト 診療報酬点数早見表 医学通信社			
【評価方法】 期末試験 50%、確認テスト 25%、課題提出 15%、学習意欲（出席状況含む）10% 成績評価基準は学則に従い、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。			

授業科目 診療報酬請求演習 I

【科目担当者】 宮本 真由美	【実務経験の有無および経歴】 有（ 医療事務として医療現場に従事経験あり ）		
【単位数】 7	【時間数】 210時間	【対象学年】 1年	【開講時期】 前・後期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 診療報酬請求で学んだことを、カルテの問題演習で理解を深める。前期においては医療事務管理士認定試験（医科）、後期においては診療報酬請求事務能力認定試験（医科）の取得を目指す。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1～4	レセプト（上書き）	演習	宮本真由美
5～10	初・再診料	演習	宮本真由美
11～15	医学管理等	演習	宮本真由美
16～20	投薬	演習	宮本真由美
21～30	注射	演習	宮本真由美
31～35	在宅医療	演習	宮本真由美
36～40	処置	演習	宮本真由美
41～42	リハビリテーション	演習	宮本真由美
43～50	検査	演習	宮本真由美
51～52	病理診断	演習	宮本真由美
53～56	手術、麻酔	演習	宮本真由美
57～60	画像診断	演習	宮本真由美
61～62	精神科専門療法、放射線治療	演習	宮本真由美
63～65	入院料	演習	宮本真由美
66～70	レセプトの点検	演習	宮本真由美
71～84	医療事務管理士認定試験対策（総合問題）	演習	宮本真由美
85～105	診療報酬請求事務能力認定試験対策（総合問題）	演習	宮本真由美
【使用教科書】 医科点数サポートブック ソラスト 、 診療点数早見表 医学通信社			
【評価方法】 授業態度・出席率 10%、チェックテスト 10%、検定（医療事務管理士および診療報酬請求事務） 80% 成績評価基準は学則に従い、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。			

授業科目 D P C 請求

【科目担当者】 佐藤 紀子		【実務経験の有無および経歴】 有（ 医療事務として医療現場に従事 ）	
【単位数】 1	【時間数】 1 5 時間	【対象学年】 1 年	【開講時期】 後期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 D P C を導入している病院が増えている中、D P C での算定方法を覚え、出来高と比較し、理解を深める。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1	D P C 請求と支払のしくみ	講義	佐藤 紀子
2～3	診療報酬の算定	講義・演習	佐藤 紀子
4～6	レセプトの作成	演習	佐藤 紀子
7	変更、再入院の取り扱い	講義	佐藤 紀子
8	D P C 導入にあたって	講義	佐藤 紀子
【使用教科書】 D P C テキストセット ソラスト			
【評価方法】 授業態度・出席率 10%、期末試験 90% 成績評価基準は学則に従い、A(80 点以上)・B(70 点以上)・C(60 点以上)・D(60 点未満)とする。			

授業科目 医事コンピュータ実習 I

【科目担当者】 澤田 千賀子		【実務経験の有無および経歴】	
【単位数】 1	【時間数】 30時間	【対象学年】 1年	【開講時期】 後期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 診療報酬請求事務で覚えた知識を医事コンピュータで応用する。外来カルテ、伝票入力をする基本的知識を学び、医事コンピュータ検定3級合格を目指す。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1～3	医事コンピュータの基本操作	講義・演習	澤田千賀子
4～7	カルテ形式での入力操作	講義・演習	澤田千賀子
8～9	伝票形式での入力操作	講義・演習	澤田千賀子
10～12	医科点数表の読みこなし（学科問題対策）	講義	澤田千賀子
13～15	医事コンピュータ3級対策（総合問題）	演習	澤田千賀子
【使用教科書】 「医事 NaviⅢ」操作テキスト ケアアンドコミュニケーション、医科点数早見表 医学通信社 点数サポートブック ソラスト			
【評価方法】 授業態度・出席率 10%、確認テスト 10%、検定試験 80% 成績評価基準は学則に従い、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。			

授業科目 コンピュータ実習 I

【科目担当者】 宮崎 雅子		【実務経験の有無および経歴】 有（ 企業内インストラクターとして従事 ）	
【単位数】 3	【時間数】 90時間	【対象学年】 1年生	【開講時期】 前・後期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 講義および実習 検定試験（Word 3 級、Excel 3 級）合格、実務で活用できる応用力の取得			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1~5	入力、文書編集、印刷	講義・演習	宮崎雅子
6	文書作成の基本操作 まとめ	講義・演習	宮崎雅子
7~8	活用	講義・演習	宮崎雅子
9	基本～活用 まとめ	講義・演習	宮崎雅子
10~11	表作成、編集の基本	講義・演習	宮崎雅子
12	表 実務での活用	講義・演習	宮崎雅子
13~14	作図、図の利用	講義・演習	宮崎雅子
15	図形まとめ	講義・演習	宮崎雅子
16~22	検定試験（Word 3 級）対策	演習	宮崎雅子
22~26	入力、計算式の基礎、表作成、印刷	講義・演習	宮崎雅子
27	表作成 まとめ	講義・演習	宮崎雅子
28~29	グラフ作成	講義・演習	宮崎雅子
30	環境設定、管理	講義・演習	宮崎雅子
31	基本機能 まとめ	講義・演習	宮崎雅子
32~37	関数	講義・演習	宮崎雅子
38~40	<u>データベース</u>	講義・演習	宮崎雅子
41~45	検定試験（Excel 3 級）対策	演習	宮崎雅子
【使用教科書】 Word 2 0 1 6 クイックマスター 基本編 Excel 2 0 1 6 クイックマスター 基本編 ウイネット			
【評価方法】 課題 40% 授業態度 20% 検定および試験 40% 成績評価基準は学則に従い、A(80 点以上)・B(70 点以上)・C(60 点以上)・D(60 点未満)とする。			

授業科目 英 語

【科目担当者】 米田 春美		【実務経験の有無および経歴】	
【単位数】 3	【時間数】 45時間	【対象学年】 1年	【開講時期】 前・後期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 病院の受付での患者対応に必要な基礎的英語表現や語彙を学ぶことにより、日本語に不慣れな外国人患者が来院した際、その要望を理解し、病院側の指示を英語で伝えることができるようになることを目指す。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1	英語授業の目的、課題、試験内容、評価方法について Unit 1 急に英語で話しかけられた時対応する表現	講義	米田春美
2	Unit 2 基本情報についての質問① (名前、出身、出生地、年齢、兄弟の有無、趣味等)	講義	米田春美
3	Unit 3 基本情報についての質問②(住所、電話番号) 数字、序数、月、曜日	講義	米田春美
4~5	Unit 4 初診患者との会話 語彙①診療科名	講義	米田春美
6~7	Unit 5 病院内の案内	講義	米田春美
8~10	Unit 6 内科的症状についての質問 語彙②症状	講義	米田春美
11~13	Unit 7 怪我についての質問 語彙③身体各部の言い方	講義	米田春美
14~16	Unit 8 予診票の記入（既往症やアレルギーの有無についての質問） 語彙④病名	講義	米田春美
17~18	Unit 9 薬の飲み方の指示、頻度の言い方 語彙⑤薬	講義	米田春美
19~20	Unit 10 検査の予約、時間の言い方 語彙⑥検査	講義	米田春美
21	Unit 11 手術前の指示 筆記試験、口頭試験に向けた学習内容の総復習	講義	米田春美
22	口頭試験（患者対応に必要な英語表現を暗記して言う）	一対一の口頭試験	米田春美
23	筆記試験	筆記試験	米田春美
【使用教科書】 医学書院「クリスティーンのやさしい看護英会話」（知念クリスティーン、上瀧真紀恵 著）CD含む			
【評価方法】 期末試験60%、課題提出5% 小テスト5% 口頭試験30% 成績評価基準は学則に従い、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。			

授業科目 心理学

【科目担当者】 山之内 則雄		【実務経験の有無および経歴】	
【単位数】 2	【時間数】 30時間	【対象学年】 1年	【開講時期】 前期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 心理学の基礎的知識及び人間心理と人間の行動について学ぶ。医療現場において患者心理を意識した行動をとれるようになることを目標とする。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1	心理学の方法	講義	山之内則雄
2	発達心理学	講義	山之内則雄
3～4	精神分析学	講義	山之内則雄
5	認知心理学	講義	山之内則雄
6	行動の水準	講義	山之内則雄
7	古典的条件付け	講義	山之内則雄
8	習得的行動	講義	山之内則雄
9	意識と行動	講義	山之内則雄
10	対象物の永続性	講義	山之内則雄
11	遺伝と環境	講義	山之内則雄
12	刷り込み	講義	山之内則雄
13	記憶について	講義	山之内則雄
14	長期記憶	講義	山之内則雄
15	復習・テスト	講義	山之内則雄
【使用教科書】 心理学 編集：鹿取廣人／杉本敏夫 東京大学出版会			
【評価方法】 中間テスト 45% 期末試験 45% 課題提出・学習意欲（出席状況含む） 10% 成績評価基準は学則に従い、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。			

授業科目 日本語表現 I

【科目担当者】 宮本 真由美		【実務経験の有無および経歴】	
【単位数】 1	【時間数】 15 時間	【対象学年】 1 年	【開講時期】 前・後期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 就職・提出書類・病院実習の場にあった表記を学ぶ。国語力・語彙力を強化する。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1～2	手紙文（お礼状等）の書き方・封筒の書き方	講義・演習	宮本真由美
3～5	新聞を使った学習（書き写し、要約等）	講義・演習	宮本真由美
6～8	就職作文（原稿用紙の使い方含む）	講義・演習	宮本真由美
【使用教科書】 実践ビジネスマナー ウイネット			
【評価方法】 授業態度・出席率 20%、提出物（課題）40%、期末試験 40% 成績評価基準は学則に従い、A(80 点以上)・B(70 点以上)・C(60 点以上)・D(60 点未満)とする。			

授業科目 コミュニケーション学

【科目担当者】 宮本 真由美 伊藤 満		【実務経験の有無および経歴】	
【単位数】 1	【時間数】 15時間	【対象学年】 1年	【開講時期】 前期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 「話す・聞く」技術を総合的に学び、より効果的・的確に意見を伝えられるコミュニケーションの体得を目指す。医療現場における患者・医療スタッフとのコミュニケーション力の基礎を身につけることを目標とする。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1	コミュニケーション検定の概要説明、コミュニケーションゲーム（匠の里）	講義・演習	宮本・伊藤
2	コミュニケーションゲーム（おもしろ村、コンセンサスゲーム）	演習	宮本・伊藤
3	コミュニケーション検定対策（聞く力、話す力、敬語の遣い方）	講義	宮本真由美
4	コミュニケーション検定対策（敬語・小テスト）	講義・演習	宮本真由美
5	コミュニケーション検定対策（来客対応、電話対応、接客対応）	講義	宮本真由美
6	コミュニケーション検定対策	講義・演習	伊藤 満
7	コミュニケーション検定対策	講義・演習	伊藤 満
8	コミュニケーション検定対策	講義・演習	宮本真由美
9	コミュニケーション検定	検定	宮本・伊藤
【使用教科書】 コミュニケーション検定初級 公式ガイドブック&問題集 サーティファイ			
【評価方法】 学習意欲（出席状況含む）5% 検定（コミュニケーション検定）95% 成績評価基準は学則に従い、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。			

2019 年度
学修要項(シラバス Syllabus)

ICM 国際メディカル専門学校
診療情報管理士学科 第2学年
2018 年度入学生

授業科目 臨床医学各論（精神・脳神経・感覚器系等）

【科目担当者】 小林 一広 小林 千紘		【実務経験の有無および経歴】 有（歯科医師として医療現場に従事経験有り） 有（歯科医師として医療現場に従事）	
【単位数】 1	【時間数】 20時間	【対象学年】 2年	【開講時期】 後期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 精神・脳神経・感覚器系の疾病を中心に特徴、症状、診断法、治療法等について理解する。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1～3	精神および行動の障害 統合失調症 気分（感情）障害 知的障害＜精神遅滞＞ 心理的発達の障害	講義	小林一広 小林千紘
4～6	神経系の疾患 中枢神経系の炎症性疾患 多発ニューロパチ<シ>ーおよびその他の末梢神経系の障害 脳性麻痺 神経系のその他の障害	講義	小林一広 小林千紘
7～8	眼および付属器の疾患 結膜の障害 水晶体の障害 緑内障 視神経および視（覚）路の障害	講義	小林一広 小林千紘
9～10	耳および乳様突起の疾患 外耳疾患 中耳疾患 内耳疾患	講義	小林一広 小林千紘
【使用教科書】 診療情報管理Ⅰ 日本病院会			
【評価方法】 授業態度・出席率 10%、期末試験 90% 成績評価基準は学則に従い、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。			

授業科目 臨床医学各論（感染症および寄生虫症）

【科目担当者】 小林 一広 小林 千紘		【実務経験の有無および経歴】 有（歯科医師として医療現場に従事経験有り） 有（歯科医師として医療現場に従事）	
【単位数】 1	【時間数】 20時間	【対象学年】 2年	【開講時期】 後期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 感染症および寄生虫の疾病を中心に特徴、症状、診断法、治療法等について理解する。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1～7	感染症 腸管感染症 結核 人畜共通細菌性疾患 性的伝播様式をとる感染症 クラミジアによる感染症 ウイルス肝炎 ヒト免疫不全ウイルス[HIV]病 真菌症	講義	小林一広 小林千紘
8～10	寄生虫症 原虫疾患 ぜんく蠕虫症 シラミ症、ダニ章およびその他の動物寄生症	講義	小林一広 小林千紘
【使用教科書】 診療情報管理 I 日本病院会			
【評価方法】 授業態度・出席率 10%、期末試験 90% 成績評価基準は学則に従い、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。			

授業科目 臨床医学各論（皮膚・筋骨格系等）

【科目担当者】 小林 一広 小林 千紘		【実務経験の有無および経歴】 有（歯科医師として医療現場に従事経験有り） 有（歯科医師として医療現場に従事）	
【単位数】 1	【時間数】 20時間	【対象学年】 2年	【開講時期】 後期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 皮膚・筋骨格系の疾病を中心に、特徴、症状、診断法、治療法等について理解する。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1～5	皮膚および皮下組織の疾患 皮膚および皮下組織の感染症 水疱症 皮膚炎および湿疹 じんましんおよび紅斑	講義	小林 一広 小林 千紘
6～10	筋骨格系および結合組織の疾患 関節障害 全身性結合組織障害 脊柱障害 軟部組織障害 骨障害および軟骨障害 筋骨格系および結合組織のその他の障害	講義	小林 一広 小林 千紘
【使用教科書】 診療情報管理 I 日本病院会			
【評価方法】 授業態度・出席率 10%、期末試験 90% 成績評価基準は学則に従い、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。			

授業科目 産科学

【科目担当者】 徳永 昭輝		【実務経験の有無および経歴】 有（ 医師として医療現場に従事 ）	
【単位数】 1	【時間数】 20時間	【対象学年】 2年	【開講時期】 前期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 周産期疾病について、特徴、症状、診断法の概要を学ぶ。また妊娠から母体の変化、胎児の発育、分娩までの基本も理解する。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1～5	妊娠、分娩および産褥 妊娠から分娩までのメカニズム 流産に終わった妊娠 妊娠に関連する母体障害 分娩 分娩の合併症 産褥に関連する合併症	講義	徳永昭輝
6～10	周産期に発生した病態 妊娠期間および胎児発育に関連する障害 出産外傷 周産期に特異的な感染症 胎児および新生児の消化器系障害 周産期に発生したその他の障害	講義	徳永昭輝
【使用教科書】 診療情報管理 I 日本病院会			
【評価方法】 授業態度・出席率 10%、期末試験 90% 成績評価基準は学則に従い、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。			

授業科目 薬理学

【科目担当者】 弦巻 立	【実務経験の有無および経歴】 有（ 歯科医師として医療現場に従事 ）		
【単位数】 1	【時間数】 20時間	【対象学年】 2年	【開講時期】 前期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 臨床で使用される薬剤の作用機序、適応などを学ぶ。医療現場において薬理知識を踏まえ、適切かつ安全な治療を提供できるようになることを目標とする。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1	薬理学総論、薬と法律	講義	弦巻 立
2	薬物動態	講義	弦巻 立
3	作動薬、遮断薬、薬効に影響を及ぼす要因	講義	弦巻 立
4	薬物と食物、薬物の相互作用	講義	弦巻 立
5	抗感染症薬、ワクチン	講義	弦巻 立
6	消毒薬、麻酔薬、向精神薬	講義	弦巻 立
7	パーキンソン病治療薬、てんかん薬、自律神経	講義	弦巻 立
8	末梢神経作動薬	講義	弦巻 立
9	循環器系作用薬	講義	弦巻 立
10	まとめ	講義	弦巻 立
【使用教科書】 よくわかる薬理学の基本としくみ 秀和システム			
【評価方法】 中間試験 40%、期末試験 40%、課題提出（出席状況含む）10%、学習意欲 10% 成績評価基準は学則に従い、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。			

授業科目 医療情報学Ⅱ

【科目担当者】 藤縄 美弥子		【実務経験の有無および経歴】	
【単位数】 3	【時間数】 45時間	【対象学年】 2年	【開講時期】前期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 医療情報システムについて、各部門システムと各職種との関連を理解する。また、病院における医療情報がどう いう歴史をたどり、この先どう発展していくべきか、関連法規も含めて学ぶ。医療情報技師試験を網羅した内容を 理解する。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1～4	医療情報の特性と医療情報システム	講義	藤縄美弥子
5～6	医療を支える情報システムの構成	講義	藤縄美弥子
7～10	病院情報システムの機能	講義	藤縄美弥子
11～12	病院情報システムの導入	講義	藤縄美弥子
13～14	病院情報システムの運用	講義	藤縄美弥子
15	病院情報システムの評価と改善	講義	藤縄美弥子
16～17	医療情報システムの標準化	講義	藤縄美弥子
18	医療情報技師の3Cを支える手法・スキル	講義	藤縄美弥子
19	医療情報分野の将来	講義	藤縄美弥子
20～23	医療情報技師試験過去問題の演習と解説	講義・演習	藤縄美弥子
【使用教科書】 医療情報サブノート 篠原出版新社			
【評価方法】 期末試験 50%、確認テスト 15%、学習意欲（出席状況含む）・グループワーク発表 35% 成績評価基準は学則に従い、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。			

授業科目 医療関連法規Ⅱ

【科目担当者】 澤田 千賀子		【実務経験の有無および経歴】	
【単位数】 1	【時間数】 20時間	【対象学年】 2年	【開講時期】 後期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 年金、臓器移植、自賠責など医療関連法規を学び、医師事務作業補助の検定につなげる。1年次に学んだ法律については、医療秘書検定2級対策として触れ、合格を目指す。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1～4	医療法（1年次復習）	講義	澤田千賀子
5～6	健康保険法（1年次復習）	講義	澤田千賀子
7～10	その他の関連法規 自賠責 年金制度 臓器移植法	講義	澤田千賀子
【使用教科書】 医事関連法の完全知識 医学通信社			
【評価方法】 期末試験 50%、確認テスト 50% 成績評価基準は学則に従い、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。			

授業科目 医療統計学 I

【科目担当者】 赤澤 宏平	【実務経験の有無および経歴】 有（ 病院医療情報部に勤務 ）		
【単位数】 1	【時間数】 20 時間	【対象学年】 2 年	【開講時期】 後期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 診療記録に含まれる医療の質に関する情報、傷病名等、必要な医療情報から統計的方法による分類と視覚化を学習し、病院の統計資料について適切な解釈ができることを目指す。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1～3	統計的方法 肝硬変データを使っての度数分布 アルブミンデータのヒストグラム作成 （平均値、標準偏差、正規分布） アルブミンと T-cho データを使った箱ひげ図 変動係数	講義・演習	赤澤宏平
4～6	データのグラフ表現 散布図と回帰直線 棒グラフ、円グラフ、帯グラフ、折れ線グラフ、レーダー図 箱ひげ図、3次元グラフ	講義・演習	赤澤宏平
7～10	病院の統計資料 病院統計の作成と意義	講義	赤澤宏平
【使用教科書】 診療情報管理Ⅲ 日本病院会			
【評価方法】 授業態度・出席率 10%、課題提出 10%、期末試験 80% 成績評価基準は学則に従い、A(80 点以上)・B(70 点以上)・C(60 点以上)・D(60 点未満)とする。			

授業科目 医学用語

【科目担当者】 村山 ひとみ		【実務経験の有無および経歴】 有 (看護師として医療・介護・保健事業の現場に従事)	
【単位数】 3	【時間数】 45時間	【対象学年】 2年	【開講時期】 前・後期
【科目概要 (授業の方法および内容、到達目標)】			
①科目概要：医療事務系職種に必要な、カルテ読み込み、レセプト作成 (主病) の理解、患者理解、多種職連携の医療事務系職種に関連・意識した必要最低限の用語を学ぶ。			
②授業方法・内容：正体的な資格試験合格範囲を意識して、重要箇所をノートまとめ、教科書マーカー引き、各章終了ごとにチェックテストを実施。			
③到達目標：医療事務管理士、診療報酬、医療秘書検定、医師事務補助作業、診療情報管理の資格試験における医学用語問題を解くことができる。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1～2	医学用語の必要性／医学用語の構成要素	講義	村山 ひとみ
3～4	医学用語一年次復習／英語ドイツ語版体のパーツ	講義	村山 ひとみ
5～6	接頭語・連結、複合語・接尾語	講義	村山 ひとみ
7～8	代表的な医学用語 (教科書：末尾資料)	講義	村山 ひとみ
9～10	循環器・呼吸器用語	講義	村山 ひとみ
11～12	消化器・泌尿器用語	講義	村山 ひとみ
13～14	代謝内分泌用語	講義	村山 ひとみ
15～16	神経・感覚器用語	講義	村山 ひとみ
17～18	骨格系用語	講義	村山 ひとみ
19～20	皮膚・感染・寄生虫、精神医学用語	講義	村山 ひとみ
21～22	乳腺・妊娠・分娩・周産期用語	講義	村山 ひとみ
23	テスト前まとめ確認	演習	村山 ひとみ
【使用教科書】 診療情報管理Ⅱ 日本病院会 臨床英略語ディクショナリー メディカ出版			
【評価方法】 期末試験 70%、チェックテスト 15%、授業態度 (出席状況含む) 15% 成績評価基準は学則に従い、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。			

授業科目 電子カルテ

【科目担当者】 泉 綾		【実務経験の有無および経歴】	
【単位数】 1	【時間数】 20時間	【対象学年】 2年	【開講時期】 後期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 電子カルテの基本操作また、医師事務作補助に必要なディクテーション能力をつける。電子カルテ検定の取得を目指す。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1～3	基本動作と電子カルテ3原則 基本操作 電子カルテ3原則（真正性・保存性・見読性）の理解	講義・演習	泉 綾
4	SOAPの理解	講義・演習	泉 綾
5	紹介状・医療文書作成	講義・演習	泉 綾
6～10	検定対策（電子カルテ検定）	演習	泉 綾
【使用教科書】 「C&C電子カルテシステムII」操作テキスト ケアアンドコミュニケーション			
【評価方法】 授業態度・出席率15%、確認テスト15%、検定試験70% 成績評価基準は学則に従い、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。			

授業科目 医療秘書実務

【科目担当者】 澤田 千賀子		【実務経験の有無および経歴】	
【単位数】 3	【時間数】 4 5 時間	【対象学年】 2 年	【開講時期】 前・後期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 敬語、電話応対などビジネスの基本的なマナーを学ぶとともに、医療機関特有の患者応対の基礎知識を学ぶ。医療秘書検定 2 級取得を目指す。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1	社会人としての心構え 職場の基本マナー 指示の受け方・報告の仕方 職場の人間関係	講義	澤田千賀子
2	基本動作 お辞儀（敬礼、普通令、最敬礼） 椅子の立ち方、座り方 歩き方	講義・演習	澤田千賀子
3～4	言葉遣いの基本 話の仕方、聞き方 敬語の基本 間違いやすい敬語	講義・演習	澤田千賀子
5～6	来客の応対 受付 案内 名刺の取り扱い	講義・演習	澤田千賀子
7～9	電話応対 受け方 かけ方	講義・演習	澤田千賀子
10～19	医療秘書検定 2 級対策（医療秘書実務分野）	演習	澤田千賀子
20～23	患者応対 患者応対の基本 ケーススタディ	講義・演習	澤田千賀子
【使用教科書】 実践ビジネスマナー ウイネット			
【評価方法】 提出課題 10%、ロールプレイング 10%、期末試験 80% 成績評価基準は学則に従い、A(80 点以上)・B(70 点以上)・C(60 点以上)・D(60 点未満)とする。			

授業科目 疾病分類法 I

【科目担当者】 宮本 真由美		【実務経験の有無および経歴】	
【単位数】 4	【時間数】 120時間	【対象学年】 2年	【開講時期】 前・後期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 疾病の分類を中心に、その概念・種類・目的及び診療録に記載された内容について、定められたルールに基づいて分類できることを目的とする。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1～2	国際疾病分類とわが国での利用	講義	宮本真由美
3～10	ICD10 使用上の注意 記号、符号の読み方 複数病態分類、複合病態分類及び二重分類 ICD10 1巻・3巻の使いかた 用語の定義	講義	宮本真由美
11～60	各章における疾病コーディングの実際 感染症および寄生虫症 血液および造血器の疾患並びに免疫機構の障害 内分泌、栄養および代謝疾患 精神及び行動の障害 神経系の疾患 眼および付属器の疾患 耳および乳様突起の疾患 循環器系の疾患 呼吸器系の疾患 消化器系の疾患 皮膚および皮下組織の疾患 筋骨格系および結合組織 腎尿路生殖器系の疾患 妊娠、分娩および産褥 周産期に発生した病態 先天奇形、変形および染色体異常 症状、徴候および異常臨床所見 損傷、中毒およびその他の外因の影響 傷病および死因の外因 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	講義・演習	宮本真由美
【使用教科書】 診療情報管理Ⅳ 日本病院会 ICD-10（1巻・3巻） 財団法人厚生統計協会			
【評価方法】 学習意欲（出席状況含む）10%、確認テスト10%、期末試験80% 成績評価基準は学則に従い、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。			

授業科目 疾病分類法演習 I

【科目担当者】 泉 綾		【実務経験の有無および経歴】 有（ 診療情報管理士として医療現場に従事経験有り ）	
【単位数】 1	【時間数】 30時間	【対象学年】 2年	【開講時期】 後期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 疾病分類法 I で学んだ各章の分類を総合的に演習し、病態に合ったコーディングがつけられることを目的とする。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1～10	各章における疾病コーディング 第1章～22章	演習	泉 綾
11～15	総合問題	演習	泉 綾
【使用教科書】 診療情報管理Ⅳ 日本病院会 ICD-10（1巻・3巻） 財団法人厚生統計協会			
【評価方法】 学習意欲（出席状況含む）10%、確認テスト10%、期末試験80% 成績評価基準は学則に従い、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。			

授業科目 診療報酬請求演習Ⅱ

【科目担当者】 澤田 千賀子		【実務経験の有無および経歴】	
【単位数】 1	【時間数】 50時間	【対象学年】 2年	【開講時期】 前・後期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 レセプト作成を中心に就職してから即戦力となれるよう復習する。病院実習・就職にそなえ、実務で必要となる公費医療の実務を学ぶ。また、医療秘書検定2級取得を目標とする。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1～10	実務に即した学習 公費医療の概要 レセプトの点検、作成（入院レセプト） 労災保険の概要 自賠責（交通事故）	講義・演習	澤田千賀子
11～20	医療秘書検定2級対策 医療事務分野	演習	澤田千賀子
21～25	病院・診療所勤務を想定したレセプト作成 レセプト作成（入院・外来）	講義・演習	澤田千賀子
【使用教科書】 医科点数サポートブック ソラスト 診療点数早見表 医学通信社			
【評価方法】 授業の出席点 20%、平常点 15%、確認テスト 15%、期末試験 50% 成績評価基準は学則に従い、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。			

授業科目 医事コンピュータ実習Ⅱ

【科目担当者】 澤田 千賀子		【実務経験の有無および経歴】	
【単位数】 1	【時間数】 30時間	【対象学年】 2年	【開講時期】 前期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 1年次で学んだ医事コンピュータ3級の知識を応用し、入院での入力をマスターする。医事コンピュータ2級取得を目標とする。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1～5	入力練習 外来と入院の入力の違いを理解する 手術伝票など、入院の算定に必要な伝票類の見方を知る	講義・演習	澤田千賀子
6～7	コンピュータ知識の定着 コンピュータ用語の理解	講義	澤田千賀子
8～9	医科点数表の読みこなし 学科試験対策	講義・演習	澤田千賀子
10～15	医事コンピュータ2級対策	演習	澤田千賀子
【使用教科書】 医科点数早見表 医学通信社 点数サポートブック ソラスト 医事コンピュータ関連知識 建帛社			
【評価方法】 授業の出席点 10%、平常点 15%、確認テスト 15%、検定 60% 成績評価基準は学則に従い、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。			

授業科目 病院実習

【科目担当者】 各実習施設	【実務経験の有無および経歴】 有（実習現場の診療情報管理士）		
【単位数】 3	【時間数】 90時間	【対象学年】 2年	【開講時期】 前・後期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 前期については特定機能病院の実習をおこない、一般病院との違いを理解する。 後期については実際の診療情報管理士の業務を実習することで、より深く職種を理解する。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1～15	特定機能病院 新潟大学医歯学総合病院での実習（1週間） 病歴室・医事課を中心に、薬剤部、検査部の見学・実習	臨床実習	診療情報管理士 実習指導者
16～45	診療情報管理の実際 臨地実習（2週間） ・診療情報管理業務 （診療録貸出・返却、バージング、スキャナ取込み、 コーディング、製本など） ・がん登録室業務 ・医事課業務 （DPC、入院レセプト）	臨床実習	診療情報管理士 実習指導者
【使用教科書】			
【評価方法】 実習評価表（5項目）による総合評価 90%、実習レポート課題 10% 成績評価基準は学則に従い、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。			

授業科目 コンピュータ実習Ⅱ

【科目担当者】 宮崎 雅子		【実務経験の有無および経歴】 有（ 企業内インストラクターに従事 ）	
【単位数】 3	【時間数】 90時間	【対象学年】 2年生	【開講時期】 前・後期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 講義および実習 検定試験（Excel2級、Access3級）合格、実務で活用できる応用力の取得			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1	データの連携	講義・演習	宮崎雅子
2~4	データベース	講義・演習	宮崎雅子
5	グラフ応用	講義・演習	宮崎雅子
6	課題作成	講義・演習	宮崎雅子
7~10	関数	講義・演習	宮崎雅子
11~13	便利な機能	講義・演習	宮崎雅子
14~16	関数	講義・演習	宮崎雅子
17~18	高度な機能	講義・演習	宮崎雅子
19~23	検定試験（Excel2級）対策	演習	宮崎雅子
24	Access 検定の概要	講義・演習	宮崎雅子
25~28	テーブル	講義・演習	宮崎雅子
29~30	クエリ	講義・演習	宮崎雅子
31~32	関数	講義・演習	宮崎雅子
33~34	フォーム	講義・演習	宮崎雅子
35~36	レポート	講義・演習	宮崎雅子
37	<u>マクロ</u>	講義・演習	宮崎雅子
38~39	クエリ・レポート応用	講義・演習	宮崎雅子
40~41	フォーム応用	講義・演習	宮崎雅子
42~45	検定試験（Access3級）対策	演習	宮崎雅子
【使用教科書】 Excel2016クイックマスター 応用編 ウイネット Access2016クイックマスター ウイネット			
【評価方法】 課題 40% 授業態度 20% 検定および試験 40% 成績評価基準は学則に従い、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。			

授業科目 情報処理工学

【科目担当者】 淡島 正浩		【実務経験の有無および経歴】	
【単位数】 3	【時間数】 50時間	【対象学年】 2年	【開講時期】 前期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 医療情報に必要なコンピュータ・ネットワーク技術の基礎、各種信号処理・制御理論、システム理論について学び、医療情報技師試験の基礎となる知識を身につける。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1～10	コンピュータ ハードウェア ソフトウェア ネットワーク	講義	淡島正浩
11～20	情報処理 情報表現と論理演算 各種信号処理	講義	淡島正浩
21～25	総合問題（医療情報技師：情報処理工学分野過去問題）	演習	淡島正浩
【使用教科書】 医療情報サブノート 篠原出版新社			
【評価方法】 学習意欲（出席状況含む）10%、期末試験 90% 成績評価基準は学則に従い、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。			

授業科目 数学

【科目担当者】 瀧澤 勇介		【実務経験の有無および経歴】	
【単位数】 2	【時間数】 30時間	【対象学年】 2年	【開講時期】 前期
【科目目標】 診療情報管理士として必要な統計学の基礎を学ぶ。本講義においては、最小二乗法による単回帰分析および正規分布に従うデータに対する統計学的推測ができるようになることを目指す。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1	データの種類と性質（量的変量と質的変量、尺度）	講義・演習	瀧澤 勇介
2	度数分布表とヒストグラム	講義・演習	瀧澤 勇介
3	平均値、中央値、最頻値	講義・演習	瀧澤 勇介
4	範囲、四分位数、五数要約	講義・演習	瀧澤 勇介
5～6	分散、標準偏差、変動係数	講義・演習	瀧澤 勇介
7	分布の形状（正規分布と非正規分布）	講義・演習	瀧澤 勇介
8	組になったデータの関係（相関と回帰）	講義・演習	瀧澤 勇介
9	共分散と相関係数	講義・演習	瀧澤 勇介
10	回帰直線と最小二乗法	講義・演習	瀧澤 勇介
11	確率と確率分布（確率変数、期待値、分散）	講義・演習	瀧澤 勇介
12	正規分布	講義・演習	瀧澤 勇介
13	推定	講義・演習	瀧澤 勇介
14～15	統計学的仮説検定	講義・演習	瀧澤 勇介
【使用教科書】 診療情報管理士のためのやさしい医療統計学 監修：日本病院会、診療情報管理士教育委員会 じほう			
【評価方法】 期末試験 90%、課題&学習意欲（出席状況含む）10% 成績評価基準は学則に従い、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。			

授業科目 日本語表現Ⅱ

【科目担当者】 澤田 千賀子		【実務経験の有無および経歴】	
【単位数】 1	【時間数】 15時間	【対象学年】 2年	【開講時期】 前・後期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 就職・提出書類・病院実習の場にあった表記を学ぶ。病院実習報告会にむけたプレゼンテーションの方法（パワーポイント作成）を身につける。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1～2	病院実習 実習生カードの書き方 実習日誌の書き方	講義・演習	澤田千賀子
3～4	手紙文の書き方・封筒の書き方 お礼状・依頼状	講義・演習	澤田千賀子
5～8	プレゼンテーション パワーポイント作成 報告会に向けたプレゼンテーションの方法 報告会準備	講義・演習	澤田千賀子
【使用教科書】			
【評価方法】 授業の出席点 20%、平常点（提出物含む）40%、期末試験 40% 成績評価基準は学則に従い、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。			

授業科目 医療ビューティー特論

【科目担当者】 岡田 花菜子 廣川 奈津子 清野 祐子 武 美幸 野村 典央		【実務経験の有無および経歴】 有（アナウンサーとしてマスメディアで活躍） 有（モデルとして活躍するほか、ミスインターナショナルなどの指導もおこなう） 有（医事課職員として医療機関に従事）	
【単位数】	1	【時間数】	15時間
【対象学年】	2年	【開講時期】	後期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 医療機関で働く医療スタッフとしての表情、所作、ファッションについて学び、学生に自信をもたせる。また、就職活動にも役立たせる。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1～2	表情・話し方 気持ちを表情で伝えるコミュニケーション術 状況に応じたロールプレイング	講義・演習	岡田 花菜子
3～4	所作・動作 歩き方 お辞儀 姿勢 状況に応じたロールプレイング	講義・演習	廣川 奈津子
5～6	ファッション・着こなし パーソナルカラー診断 TPOに応じた着こなし	講義・演習	清野 祐子
7	メイク・ネイル 医療スタッフとして適したメイク、爪の手入れ	講義・演習	武 美幸
8	医療スタッフとしての心がまえ・姿勢・身だしなみ	講義	野村 典央
【使用教科書】 講師からの資料			
【評価方法】 出席率 40%、レポート課題 60% 成績評価基準は学則に従い、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			

2019 年度
学修要項(シラバス Syllabus)

ICM 国際メディカル専門学校
診療情報管理士学科 第3学年
2017 年度入学生

授業科目 臨床医学各論（循環器・呼吸器系）

【科目担当者】 岡田 康男		【実務経験の有無および経歴】 有（歯科医師として医療に従事）	
【単位数】 2	【時間数】 40時間	【対象学年】 3年	【開講時期】 前・後期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 循環器・呼吸器系の疾病を中心に、特徴、症状、診断法、治療法等について理解する。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1～10	循環器系の疾患 高血圧性疾患 虚血性心疾患 脳血管疾患 リンパ管およびリンパ節の疾患等	講義	岡田康男
11～20	呼吸器系の疾患 急性上気道感染症 インフルエンザおよび肺炎 慢性下気道疾患 外因因子による肺疾患 胸膜のその他の疾患	講義	岡田康男
【使用教科書】 診療情報管理 I 日本病院会			
【評価方法】 授業態度・出席率 10%、期末試験 90% 成績評価基準は学則に従い、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。			

授業科目 臨床医学各論（新生物）

【科目担当者】 岡田 康男		【実務経験の有無および経歴】 有（歯科医師として医療に従事）	
【単位数】 2	【時間数】 40時間	【対象学年】 3年	【開講時期】 前期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 新生物の分類、各臓器に発生する新生物の特徴、症状、診断法、治療方法等について理解する。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1～10	悪性新生物 口唇、口腔および咽頭 消化器 呼吸器 骨および関節軟骨 皮膚 女性生殖器 男性生殖器 尿路 脳 造血組織等	講義	岡田康男
11～13	上皮内新生物	講義	岡田康男
14～16	良性新生物	講義	岡田康男
17～20	性状不詳または不明の新生物	講義	岡田康男
【使用教科書】 診療情報管理 I 日本病院会			
【評価方法】 授業態度・出席率 10%、期末試験 90% 成績評価基準は学則に従い、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。			

授業科目 臨床医学各論（血液・代謝・内分泌等）

【科目担当者】 岡田 康男 大野 淳也		【実務経験の有無および経歴】 有（歯科医師として医療に従事） 有（歯科医師として医療に従事）	
【単位数】 2	【時間数】 3 5 時間	【対象学年】 3 年	【開講時期】 前期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 血液および造血器の疾患・内分泌、栄養および代謝疾患の疾病を中心に、特徴、症状、診断法、治療法等について理解する。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1～9	血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害 栄養性貧血 溶血性貧血 無形成性貧血 凝固障害、紫斑病および出血性病態 免疫機構の障害	講義	岡田康男 大野淳也
10～18	内分泌、栄養および代謝疾患 甲状腺障害 糖尿病 その他の内分泌腺障害 栄養欠乏症 代謝障害	講義	岡田康男 大野淳也
【使用教科書】 診療情報管理 I 日本病院会			
【評価方法】 授業態度・出席率 10%、期末試験 90% 成績評価基準は学則に従い、A(80 点以上)・B(70 点以上)・C(60 点以上)・D(60 点未満)とする。			

授業科目 医療統計学Ⅱ

【科目担当者】 赤澤 宏平		【実務経験の有無および経歴】 有（ 病院医療情報部に勤務 ）	
【単位数】 1	【時間数】 20時間	【対象学年】 3年	【開講時期】 前期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 2年次に学んだ統計学の基礎（統計理論等）を応用し、病院統計・疾病統計の考え方やデータ処理を学習する。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1～3	データのグラフ表現 各種のグラフとその用途	講義・演習	赤澤宏平
4～8	病院の統計資料 病院統計の作成とその意義 主な統計調査と評価指標 主な医療評価指標	講義・演習	赤澤宏平
9～10	臨床研究の主な手法と医学系研究に関する倫理指針 コホート研究と症例対照研究	講義	赤澤宏平
【使用教科書】 診療情報管理Ⅲ 日本病院会 やさしい医療統計学			
【評価方法】 授業態度・出席率 10%、課題提出 5%、確認テスト 5%、期末試験 80% 成績評価基準は学則に従い、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。			

授業科目 診療情報管理学Ⅰ

【科目担当者】 宮本 真由美 泉 綾	【実務経験の有無および経歴】 有（ 医療事務として医療現場に従事経験有り ） 有（ 診療情報管理士として医療現場に従事経験有り ）		
【単位数】 4	【時間数】 60時間	【対象学年】 3年	【開講時期】 前・後期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 病院管理学、医療・介護保険制度、医療安全・医療の質管理、診療記録の記載・保存、診療情報管理士の実務、医師事務作業補助者・がん登録の実務等診療情報管理士として必要な知識を総合的に理解する。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1～2	医療管理総論 医療資源 日本の医療制度 地域医療 医療関連法規	講義	宮本真由美
3～5	病院管理	講義	宮本真由美
6～8	医療保険・介護保険制度	演習	宮本真由美
9～11	医療安全・医療の質管理	講義	宮本真由美
12～15	法令・諸規則 診療記録の記載と保存 個人情報の保護 診療記録の記載方式	講義	泉 綾
16～19	診療情報管理士の実務	講義	泉 綾
20～30	DPC・医師事務作業補助者・がん登録の実務	講義	泉 綾
【使用教科書】 診療情報管理Ⅲ 日本病院会 診療情報管理Ⅳ 日本病院会			
【評価方法】 授業態度・出席率 10%、期末試験 90% 成績評価基準は学則に従い、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。			

授業科目 診療情報管理学Ⅱ

【科目担当者】 宮本 真由美 泉 綾	【実務経験の有無および経歴】 有（ 医療事務として医療現場に従事経験有り ） 有（ 診療情報管理士として医療現場に従事経験有り ）		
【単位数】 8	【時間数】 120時間	【対象学年】 3年	【開講時期】 後期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 診療情報管理学Ⅰで学んだ診療情報管理士の知識をもとに、診療情報管理士認定試験合格を目標に総合的に理解する。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1～7	医療管理総論	講義・演習	宮本真由美
8～16	医療管理各論Ⅰ（病院管理）	講義・演習	宮本真由美
17～23	医療管理各論Ⅱ（医療保険・介護保険制度）	講義・演習	宮本真由美
24～30	医療管理各論Ⅲ（医療安全・医療の質管理）	講義・演習	宮本真由美
31～38	保健医療情報学	講義・演習	宮本真由美
39～42	診療情報管理Ⅰ（法令・諸規則）	講義・演習	泉 綾
43～51	診療情報管理Ⅱ（診療情報管理士の実務）	講義・演習	泉 綾
52～60	診療情報管理Ⅲ（DPC・医師事務作業補助者・がん登録の実務）	講義・演習	泉 綾
【使用教科書】 診療情報管理Ⅲ 日本病院会 診療情報管理Ⅳ 日本病院会			
【評価方法】 授業態度・出席率 10%、課題提出 10%、確認テスト 20%、期末試験 60% 成績評価基準は学則に従い、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。			

授業科目 疾病分類法演習Ⅱ

【科目担当者】 泉 綾		【実務経験の有無および経歴】 有（ 診療情報管理士として医療現場に従事経験有り）	
【単位数】 2	【時間数】 60時間	【対象学年】 3年	【開講時期】 前・後期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 2年次に疾病分類法Ⅰで学んだ章ごとの疾病分類をもとに、難解な疾病のコードが総合的に付与できる。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1～3	第Ⅰ章感染症及び寄生虫症 第Ⅱ章新生物<腫瘍>	演習	泉 綾
4～6	第Ⅲ章血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害 第Ⅳ章内分泌、栄養及び代謝疾患	演習	泉 綾
7～8	第Ⅴ章精神及び行動の障害 第Ⅵ章神経系の疾患	演習	泉 綾
9～11	第Ⅶ章眼及び付属器の疾患 第Ⅷ章耳及び乳様突起の疾患	演習	泉 綾
12～14	第Ⅸ章循環器系の疾患 第Ⅹ章呼吸器系の疾患	演習	泉 綾
15～17	第Ⅺ章消化器系の疾患 第Ⅻ章皮膚及び皮下組織の疾患	演習	泉 綾
18～20	第ⅩⅢ章筋骨格系及び結合組織の疾患 第ⅩⅣ章腎尿路生殖器系の疾患	演習	泉 綾
21～23	第ⅩⅤ章妊娠、分娩及び産じょく<褥> 第ⅩⅥ章周産期に発生した病態	演習	泉 綾
24～26	第ⅩⅦ章先天奇形、変形及び染色体異常 第ⅩⅧ章症状、徴候及び異常臨床所見	演習	泉 綾
27～29	第ⅩⅨ章損傷、中毒及びその他の外因の影響 第ⅩⅩ章傷病及び死亡の外因	演習	泉 綾
30	第ⅩⅩⅠ章健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	演習	泉 綾
【使用教科書】 診療情報管理Ⅳ 日本病院会 疾病、傷害及び死因の統計分類提要 ICD-10 第1・3巻 厚生労働統計協会			
【評価方法】 授業態度・出席率 10%、確認テスト 10%、期末試験 80% 成績評価基準は学則に従い、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。			

授業科目 ICD コーディング実習

【科目担当者】 宮本 真由美		【実務経験の有無および経歴】	
【単位数】 1	【時間数】 40時間	【対象学年】 3年	【開講時期】 後期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 カルテ記載の病名を WHO で定める国際疾病分類（ICD）に従い、ソフトを使用しながらコーディングの実際を理解する。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1	ICD コードブック（CD-ROM）の使いかた	講義・演習	宮本真由美
2～3	章別問題演習（第1～5章）	演習	宮本真由美
4～5	〃（第6～10章）	演習	宮本真由美
6～7	〃（第11～15章）	演習	宮本真由美
8～9	〃（第16～21章）	演習	宮本真由美
10～12	総合演習問題（1～5）	演習	宮本真由美
13～15	〃（6～10）	演習	宮本真由美
16～18	〃（11～15）	演習	宮本真由美
19～20	〃（16～20）	演習	宮本真由美
【使用教科書】 ICD コーディング基本テキスト 日本コーディングセンター			
【評価方法】 授業態度・出席率 10%、確認テスト 10%、期末試験 80% 成績評価基準は学則に従い、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。			

授業科目 診療報酬請求演習Ⅲ

【科目担当者】 泉 綾 宮本 真由美	【実務経験の有無および経歴】 有（ 診療情報管理士として医療現場に従事経験有り） 有（ 医療事務として医療現場に従事経験有り）		
【単位数】 4	【時間数】 140時間	【対象学年】 3年	【開講時期】 前・後期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 2年次に学んだ診療報酬請求演習Ⅱ(医療秘書検定2級対策)の応用として、複雑な診療報酬請求（入院）・関連法規等を学び、医療秘書検定準1級合格を目指す。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1～5	レセプト作成（入院）	演習	泉 綾
6～20	レセプト作成（複雑な入院）	演習	泉 綾
21～24	医療秘書実務（受付・電話対応）	演習	泉 綾
25～30	医療秘書実務（院外文書、郵便）	演習	泉 綾
31～33	医療秘書実務（クレーム処理、交際の業務）	演習	泉 綾
34～38	医療機関の組織・運営	演習	宮本真由美
39～44	医療関連法規	演習	宮本真由美
45～59	医療関連知識（医学用語等）	演習	宮本真由美
60～70	医療秘書検定準1級対策	演習	泉 綾 宮本真由美
【使用教科書】 診療点数早見表（医科）医学通信社 サポートブック ソラスト 医事関連法の完全知識 医学通信社 診療情報管理Ⅱ（基礎・医学・医療用語編）日本病院会			
【評価方法】 授業態度・出席率10%、確認テスト10%、検定（医療秘書検定準1級）80% 成績評価基準は学則に従い、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。			

授業科目 医療文書作成実習

【科目担当者】 泉 綾		【実務経験の有無および経歴】	
【単位数】 1	【時間数】 40時間	【対象学年】 3年	【開講時期】 前期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 医師事務作業補助者として必要な技能を学び、医師事務作業補助技能認定試験合格を目指す。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1～2	診断書 証明書	講義・演習	泉 綾
3	傷病手当金支給申請書	講義・演習	泉 綾
4～6	死亡診断書・死体検案書	講義・演習	泉 綾
7	処方箋	講義・演習	泉 綾
8～9	診療情報提供書	講義・演習	泉 綾
10	医療要否意見書（生活保護）	講義・演習	泉 綾
11	休業補償給付支給請求書	講義・演習	泉 綾
12	自動車損害賠償責任保険診断書	講義・演習	泉 綾
13	治療用装具証明書	講義・演習	泉 綾
14	主治医意見書（介護保険）	講義・演習	泉 綾
15～20	検定対策（医師事務作業補助技能認定試験）	演習	泉 綾
【使用教科書】 メディカルドクターズクラーク講座 テキスト4 ニチイ			
【評価方法】 授業態度・出席率 10%、確認テスト 10%、検定（医師事務作業補助技能認定試験） 80% 成績評価基準は学則に従い、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。			

授業科目 病院実習

【科目担当者】 各実習施設		【実務経験の有無および経歴】 有（実習現場の診療情報管理士・医師事務作業補助者）	
【単位数】 2	【時間数】 60時間	【対象学年】 3年	【開講時期】 前期
【科目概要（授業の方法および内容、到達目標）】 診療情報管理士（医師事務作業補助者）の実務を臨床現場で学習し、職種理解を深める。また学内で学んだ知識・技能の定着をおこない、卒後即戦力として活躍できる能力を身につける。			
【授業計画】			
回数	内容	授業形態	担当
1～30	診療情報管理業務 診療録管理（貸出・返却等） 診療録の内容点検 コーディング 医師事務作業補助業務 医療文書作成 電子カルテ代行入力 医事課（入院担当） DPC レセプト	臨床実習	診療情報管理士 医師事務作業補助者 実習指導者
【使用教科書】			
【評価方法】 実習評価表（5項目）による総合評価 90%、実習レポート 10% 成績評価基準は学則に従い、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。			

